

徳成寺 寺ともから版 第102号 2015年6月

いつもありがとうございます。住職の大山です。

戦後70年の節目に、日本の安全保障が議論されています。

思い出すのは、ふるさと香川が生んだ大平正芳元総理の「戦争の
悲惨を知る人がいる間は、平和は保たれる」という言葉です。

80歳の大橋巨泉さんも、先日亡くなった愛川欽也さんに触れて

「俺もキンキンも、東京が焼け野原になって、人々が焼け焦げた釘とか
を拾って生活の糧にする姿が目には焼き付いて、こんなふうに世の中
をしちゃダメだ。その思いで生きてきた」と語っておられました。

戦争体験を受け継いで、平和を保つよう徹しましょう。

*子供向け教材「お坊さんといっしょ」をご希望の方は連絡して下さい。無料進呈中

発行責任者
住職
大山健児
坊守
大山ひとみ



徳成寺・跡取り長男の東京奮闘記

兄です。

新ジャガの美味しい季節だと言うことで、じゃがいも1kg使って
大学時代の友達とコロックパーティーをやりました。

作業自体は単純なのですが、キッチンが狭い為基本的に一人で
作業をしたということもあり、揚げ上がるまでに2時間ほど費や
しました。しかし、全てを揚げ終えた時の達成感と、口の中いっ
ぱいにコロックを頬張った時の幸福感は凄いです。

そして、美味しそうに食べてくれる人がいるということは非常
に嬉しいですね。

写真は衣をつけてあげる前のコロックの中身です。数は少ない
んですが自分の手が大きいこともあり、みんな二つずつ食べたと
ころで満腹になっていました。じゃがいもはしばらく大丈夫そう
です

